

# はじめに

柏崎市は、米山をはじめ、黒姫山、八石山、西山連峰の山々の懐に抱かれ、また変化に富んだ海岸線を持つ自然豊かなまちです。これまで、私たちはこの豊かな自然から多くの恩恵を受け、数多くの産業や文化を生み、育んできました。

現在、世界規模で様々な環境問題が深刻化しています。その中でも地球温暖化の進行は、豪雨の増加、真夏日の大幅な増加、ブナ林の減少など、気候や生態系に対して、重大な影響を与える可能性が高いと考えられ、私たち人類における喫緊の課題となっています。



人類の経済活動によって排出される温室効果ガスは、経済の拡大に伴い増加し、今後も排出量の増加が予測されています。地球温暖化に伴う気候変動の悪影響を回避するためには、温室効果ガスの排出量を減少させることが求められています。

日本では、2015年のCOP21で採択された「パリ協定」を受けて、温室効果ガス排出量を2013年度に比べて2030年度には26%、2050年度には80%削減とする目標を掲げました。これを踏まえ、本市はこの度、温暖化対策の一層の推進に向けて、平成25年度に策定した「柏崎市地球温暖化対策実行計画」の改訂を行いました。改訂しました計画では、本市全域を対象とする「区域施策編」と、市が行う事業を対象とする「事務事業編」の2部構成とし、それぞれ温室効果ガス削減量の目標と施策の方針を定めています。

方針別の取組では、地域の特性を活かした太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギーの利活用や、子ども達の環境意識向上を図る環境教育プログラムの実施など、市民・事業者・行政のそれぞれが主体的に取り組むための具体的な行動を示しています。

地球温暖化をこれ以上進行させないためには、行政の取り組みだけではなく、市民一人ひとりの意識や行動が大切です。本市の豊かな環境を将来世代にわたって受け継いでいくために、家庭や事業所など身近なところから温暖化対策を始めましょう。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心に議論を重ねていただいた環境審議会委員を始め、様々なご意見やご提案をいただいた市民、事業者の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成29年 3月  
柏崎市長 櫻井 雅浩

# 目 次

<b>I</b>	<b>計画策定の背景</b> .....	1
	第1章 計画策定の背景・意義.....	1
	1 地球温暖化問題.....	1
	2 世界の現状・対策動向.....	3
	3 日本の現状・対策動向.....	5
	4 新潟県の取組.....	7
	5 柏崎市の取組と課題.....	8
	第2章 柏崎市の温室効果ガス排出量.....	13
	1 柏崎市の温室効果ガスの排出状況.....	13
	2 過去5年の排出量の推移と増減の要因分析.....	14
	3 温室効果ガス排出量の将来予測.....	17
	第3章 計画の基本的事項.....	19
	1 柏崎市の地域特性.....	19
	2 計画策定の趣旨.....	20
	3 計画の位置付け.....	21
	4 基準年度.....	22
	5 計画期間.....	22
	6 削減目標の考え方.....	22
<b>II</b>	<b>区域施策編</b> .....	23
	第1章 基本事項.....	23
	1 対象とする範囲.....	23
	2 対象とする温室効果ガス.....	23
	3 目標年度.....	24
	4 削減目標.....	24
	第2章 削減目標達成のための取組.....	27
	1 主体別の役割.....	27
	2 施策の方針.....	28
	3 方針別の取組内容.....	28

第3章	気候変動適応に関する取組	42
1	柏崎市の取組状況	42
<b>Ⅲ</b>	<b>事務事業編</b>	43
第1章	基本事項	43
1	事務事業に関する温室効果ガスの排出状況	43
2	対象とする範囲	43
3	対象とする温室効果ガス	44
4	目標年度	44
5	削減目標	44
第2章	削減目標達成のための取組	45
1	施策の方針	45
2	方針別の取組内容	46
3	市民や事業者に向けて取り組む事業	51
<b>Ⅳ</b>	<b>計画の推進方策</b>	53
第1章	計画の進行管理	53
1	推進体制	53
2	進行管理の仕組み	55

## 参考資料

- 1 温室効果ガス排出量の算定方法
- 2 地球温暖化対策に関する国等の政策動向について
- 3 平成27年度 産業・民生部門向けアンケート調査の結果概要
- 4 用語解説